

# 電 力 情 報

NO. 3

平成 2 1 年 4 月 2 3 日

東 北 電 力 ( 株 )

## 3 月分の電力需給実績について

### 1 . 電力需要について ( 表 - 1 参照 )

3 月分の販売電力量は、6 5 億 9 , 5 0 0 万 kWh、対前年比 8 8 . 8 % の実績となりました。これを用途別にみますと、以下のとおりです。

#### 特定規模需要以外の需要 ( 自由化対象以外のお客さま )

電灯は、気温が高めに推移したことによる暖房需要の減少があったものの、オール電化住宅の増加などから対前年比 9 9 . 8 % と前年並みの実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 9 8 . 4 % の実績となりました。

#### 特定規模需要 ( 自由化対象のお客さま )

業務用電力は、暖房需要の減少などから、対前年比 9 7 . 0 % の実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比 8 3 . 1 % の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

### [ 参 考 ]

#### 大口電力

大口電力は、世界経済の急激な悪化による減産影響などから、対前年比 7 4 . 2 % の実績となり、5 カ月連続で前年実績を下回りました。

## 2 . 供給力について（表 - 2 参照）

3月の発受電電力量の合計は、73億8,400万kWhとなり、対前年比92.8%、対計画比89.8%の実績となりました。

### （自社水力）

融雪により出水が増加したことなどから、出水率113.4%の豊水となりました。発電量は、前年を1億2,100万kWh上回る8億500万kWhとなりました。

### （自社火力）

原子力の発電量の減少などにより、発電量は前年を2億800万kWh上回る44億kWhとなりました。

### （自社原子力）

女川原子力発電所3号機などの前年度との運転状況の違いにより、発電量は前年を4億7,400万kWh下回る13億3,200万kWhとなりました。

### （他社受電）

需要の減少などにより、他社火力の受電量が減少したことなどから、他社受電合計では前年を6億3,600万kWh下回る15億8,500万kWhとなりました。

以 上